

にちなん 議会だより

第3号

(平成21年11月1日発行)



日南線観光特急「海幸山幸」

[第3号の主な内容]

- ①第5回定例会での審議内容及び結果一覧 …… (2ページ～5ページ)
- ②一般質問に24人が登壇〔質問・答弁の一部を掲載〕
…………… (6ページ～12ページ)
- ③常任委員会報告ほか …… (13ページ～)

《 審 議 結 果 一 覧 》

第5回定例会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
報告第23号	専決処分の報告について	—	—	終 了
報告第24号	専決処分の報告について	—	—	終 了
報告第25号	専決処分の報告について	—	—	終 了
報告第26号	平成20年度日南市健全化判断比率の報告について	—	—	終 了
報告第27号	平成20年度日南市公営企業資金不足比率の報告について	—	—	終 了
報告第28号	北郷町温泉観光協会の経営状況を説明する書類の提出について	—	—	終 了
報告第29号	宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類の提出について	—	—	終 了
認定第 1 号	平成20年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 2 号	平成20年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 3 号	平成20年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 4 号	平成20年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 5 号	平成20年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 6 号	平成20年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 7 号	平成20年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 8 号	平成20年度北郷町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第 9 号	平成20年度北郷町特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第10号	平成20年度北郷町特別会計老人保健歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第11号	平成20年度北郷町特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第12号	平成20年度北郷町特別会計介護保険事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第13号	平成20年度北郷町特別会計分収造林事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第14号	平成20年度北郷町特別会計簡易水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第15号	平成20年度北郷町特別会計公共下水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第16号	平成20年度北郷町特別会計農業集落下水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第17号	平成20年度南郷町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第18号	平成20年度南郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第19号	平成20年度南郷町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第20号	平成20年度南郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第21号	平成20年度南郷町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第22号	平成20年度南郷町大島簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第23号	平成20年度南郷町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第24号	平成20年度日南地区衛生センター管理組合一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第25号	平成20年度南那珂地域視聴覚教育協議会会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査

番号	議案名	付託委員会	審議結果	
			委員会	本会議
認定第26号	平成20年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第27号	平成20年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第28号	平成20年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第29号	平成20年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第30号	平成20年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第31号	平成20年度日南市病院事業会計決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第32号	平成20年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第33号	平成20年度日南市大島簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第34号	平成20年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第35号	平成20年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第36号	平成20年度日南市公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第37号	平成20年度日南市水道事業決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
認定第38号	平成20年度日南市下水道事業決算の認定について	決算審査	継続審査	継続審査
議案第42号	平成21年度日南市一般会計補正予算(第2号)	予算審査	原案可決	原案可決
議案第43号	平成21年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	厚生	原案可決	原案可決
議案第44号	平成21年度日南市介護保険特別会計補正予算(第1号)	厚生	原案可決	原案可決
議案第45号	平成21年度日南市病院事業会計補正予算(第2号)	厚生	原案可決	原案可決
議案第46号	平成21年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第1号)	建設水道	原案可決	原案可決
議案第47号	平成21年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	建設水道	原案可決	原案可決
議案第48号	平成21年度日南市水道事業会計補正予算(第1号)	建設水道	原案可決	原案可決
議案第49号	日南市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例	総務文教	原案可決	原案可決
議案第50号	日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例	厚生	原案可決	原案可決
議案第51号	日南市廃棄物の適正処理、減量化、資源化等に関する条例の一部を改正する条例	厚生	原案可決	原案可決
議案第52号	日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例	産業経済	原案可決	原案可決
議案第53号	字の区域の変更について	産業経済	原案可決	原案可決
議案第54号	字の区域の変更について	建設水道	原案可決	原案可決
議案第55号	字の区域の変更について	建設水道	原案可決	原案可決
議案第56号	日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例	建設水道	原案可決	原案可決
議案第57号	財産の取得について	総務文教	原案可決	原案可決
議案第58号	日南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	厚生	原案可決	原案可決
議案第59号	日南市立中部病院の管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生	原案可決	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意
議員提出議案第10号	森林・林業・木材産業の活性化を求める意見書	—	—	原案可決
議員提出議案第11号	改正貸金業法早期完全施行並びに個人及び中小事業者救済のために自治体での多重債務救済制度充実等を求める意見書	—	—	原案可決

番号	議案名	付託委員会	審議結果	
			委員会	本会議
議員提出議案第12号	「天皇陛下御即位二十年を祝す賀詞」の決議	—	—	原案可決
陳情第1号	安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情	総務文教	継続審査	継続審査
陳情第2号	「協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)」の速やかな制定を国に求めることについての陳情書	産業経済	継続審査	継続審査
陳情第4号	埋め立てられた公有水路の復元に関する陳情	建設水道	審議未了	—
請願第5号	JR不採用問題の早期解決を求める意見書に関する請願書	総務文教	不採択	不採択
請願第6号	消費税によらない「最低保障年金制度」の創設を求める請願	厚生	不採択	不採択
請願第7号	物価に見合う年金引き上げを求める請願	厚生	不採択	不採択
陳情第9号	健康づくり屋内温泉プールの確保に関する陳情書	厚生	継続審査	継続審査

〈平成20年度関係決算について〉

上記、審査結果一覧表掲載のとおり、第5回定例会にて上程され、決算審査特別委員会付託となった決算関係議案38件（認定第1号から認定第38号まで）は、閉会中の継続審査となりました。

その後、閉会中の10月26、27、28、29日に決算審査特別委員会を開催し、4つの分科会で審査しました。その内容等については、次回の定例会にて特別委員長より報告されます。

※20年度決算の詳しい内容等については、次号に掲載いたします。

《第五回定例会の主な日程・経過》

九月七日

【本会議】

開会

会議録署名議員指名、会期決定
報告、二十年度決算認定一括上程
議案第四十九号上程/委員会付託
右記議案に対する採決
その他議案一括上程

九月八日

【本会議】

議案に対する質疑、委員会付託

【委員会】

予算審査及び決算審査特別委員会
全体会議

九月十六日、十八日、二十四日

【本会議】

市政に対する一般質問

九月二十五日

【本会議】

市政に対する一般質問

追加議案上程

提案理由説明、質疑、委員会付託

陳情の各常任委員会付託

九月二十八、二十九日

【委員会】

特別及び各常任委員会付託案件審査

十月一日

【委員会】

予算審査及び決算審査特別委員会
全体会議

【本会議】

特別及び各常任委員長審査結果報告

質疑、討論、採決

追加議案上程

提案理由説明、採決

議員提出議案上程

提出者趣旨説明、質疑、討論、採決

閉会

第五回定例会概要

平成二十一年第五回定例会は、九月七日に開会し、十月一日までの二十五日間の日程で開催されました。

平成二十一年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案十八件、議員提出議案二件、認定三十八件、報告七件、諮問五件、請願・陳情七件を審議しました。

採決の結果、原案可決二十一件、継続審査四十一件、原案同意五件、不採択三件を議決しました。

報告案件

★専決処分報告について(三件)

市道の不全による事故に係る損害賠償の額の決定、野球ネット転倒事故に係る損害賠償の額の決定、公用車自損事故に係る損害賠償の額の決定に伴う3件について、専決処分されたものの報告です。

★平成二十年度日南市健全化判断比率の報告について

★平成二十年度日南市公営企業資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第三条及び第二十二條の規定に基づく報告です。

★北郷町温泉観光協会の経営状況を説明する書類の提出について

★宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法第二百四十三条の三第二項の規定に基づく報告です。

一般会計補正予算概要

一般会計補正予算の主な事業

★子育て応援特別手当事業

〔五千百三十万円〕

経済危機対策として、平成二十一年三月末において、三歳から五歳までの児童一人あたり三万六千円を平成二十一年度限り第一子まで拡大して実施する。

★地域連携推進事業（舗装補修・災害防除）

〔三千八百万円〕

市道舗装の著しく傷んでいる路線について舗装補修を行い、本来の道路機能回復を図る。また、落石防止網の改修を行い、安全に通行できる道路環境の確保を図る。

★ごみ有料化対策事業

〔五千八百七十八万円〕

平成二十二年度からのごみ有料化に向けて、指定ごみ袋の作成やごみ袋取扱業務委託のほか、パンフレット作成、ステーションスタンド購入等の準備を行う。

★緊急雇用創出事業

〔二千五百七十万円〕

国の緊急雇用創出事業（二十一年度追加事業）十五事業で二十三名を雇用する。

★消防出張所施設整備事業

〔八百二十万円〕

平成二十三年度開設の北郷・南郷出張所の建設のための実施設計及び地質調査委託を行う。

★新・ご当地グルメ開発プログラム事業

〔三百万円〕

地域に人を呼び込む誘い水的な商品として、地元の特産品（素材）を使った地産地消型の「新・ご当地グルメ」を開発するための経費に対し助成を行う。

★学校活性化推進事業

〔千四百万円〕

鶴戸小中一貫校の教室棟建設のため、調査設計及び地質調査委託を行う。

★地域景観づくり緊急支援事業

〔八百七十三万円〕

良好な景観形成を促進し地域活性化に寄与するため、「景観ヘリテージマネージャー」（歴史文化遺産活用推進員）養成講座の開設等を行う。

★スポーツランドみやざき施設等整備促進事業

〔二百四十万円〕

プロ、大学野球等のキャンプ誘致のためピッチングマシンの購入を行う。

条例改正

★日南市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例

市立中部病院に勤務していた嘱託職員による不祥事の発生を鑑み、指揮・監督の立場にある市長・副市長の給料を次のとおり減額措置を講ずる改正を行うもの（市長）

平成二十一年九月から十一月の三ヶ月間の給与を一〇％減額
（総務部・市民部等担当副市長）

平成二十一年九月及び十月の二ヶ月間の給与を一〇％減額
（産業経済部・建設部等担当副市長）

★日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成二十一年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの間の出産に係る出産育児一時金の支給額が引き上げられることに伴い、条例の改正を行うもの（改正内容）

〔三十五万円〕 ↓ 〔三十九万円〕

★日南市廃棄物の適正処理、減量化、資源化等に関する条例の一部を改正する条例

平成二十二年四月一日から、市内全域において一般廃棄物に係る処理手数料を有料化することに伴い、条例改正を行うもの（主な改正内容）

生活系廃棄物（市が収集するもの）
指定袋（大）一枚 四十円
指定袋（中）一枚 三十円
指定袋（小）一枚 二十円

★日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例

企業立地を促進するため、優遇措置の対象となる指定工場等の要件を緩和する改正を行うもの（改正内容）

工場等を取壊し又は借り受けにより、新たな工場等として事業を行う場合も対象工場に加える。

★日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例

山村定住住宅グリーンネス黒荷田八号棟を入居者に譲渡するため、行政財産としての用途を廃止する改正を行うもの

★日南市病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

回復期リハビリテーション病棟の入院患者増加に伴い、一般病床の空き病室を機能回復訓練室として利用するため、一般病床数の減が生じるため、改正を行うもの（改正内容）

九十四床 ↓ 八十八床

★日南市立中部病院の管理に関する条例の一部を改正する条例

一般病棟の空き病室を機能訓練室として利用するため、一般病床数を変更することに伴い、患者収容定数の減について改正を行うもの（改正内容）

九十九人 ↓ 九十三人



～ 市政を問う ～ 一般質問(個人質問)に24人が登壇

平成21年第5回定例会における「市政に対する一般質問」は、9月16日～25日までの間で土日・祝祭日除く5日間で行われ、24人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

<登壇者と質問項目>

- ① 松本 弘議員 [市長の市政に対するの取り組み、一貫教育]
- ② 福岡浩一議員 [市職員の市民との協働、新エネルギー問題、飼肥杉の利活用]
- ③ 磯江純一議員 [赤レンガ館、福祉対策、ドックの整備]
- ④ 中島欽也議員 [中部病院の今後、公金滞納対策、ごみ分別とごみ有料化]
- ⑤ 渡邊倫章議員 [林業施策、環境対策]
- ⑥ 甲斐 登議員 [市立中部病院の不祥事、合併後の市政運営、一貫校制により廃校となった跡地(施設)の利活用、防災]
- ⑦ 長友喜昭議員 [教育行政(自律心やものづくりのこころを培うには)、スポーツ・レクリエーション、森林セラピー、農政]
- ⑧ 黒木盛明議員 [森林(もり)のまちづくり]
- ⑨ 杉富 正議員 [交通対策、観光行政、新型インフルエンザ対策、空き家対策]
- ⑩ 坂口義弘議員 [市長の政治姿勢、入札制度、観光の振興、環境対策、新型インフルエンザ]
- ⑪ 鈴木教夫議員 [市長の重要施策(マニフェスト、所信の一端)、職員の定数・任用、服務等、介護用品支給事業(任意事業)]
- ⑫ 谷口重紀議員 [合併記念の祭り、イベント等の行事、安全・安心のまちづくりなど、中小企業支援、商店街の振興など、農林水産業の振興、学校教育など]
- ⑬ 松田謙一郎議員 [環境問題(産業廃棄物)、新型インフルエンザ、日南申間広域不燃物処理組合]
- ⑭ 山下武典議員 [安心、安全のまちづくり、住宅用火災警報機の設置、健康診査の実施]
- ⑮ 安竹 博議員 [地域振興、農業施策]
- ⑯ 山口 満議員 [循環型社会の実現(バイオコークス燃料の実用化)、協働社会の構築、優良子牛導入並びに優良母牛保留奨励金交付事業、優良雌牛保留対策事業基金繰出、市道榎原通水線並びに市道通水札ノ尾線、林道、市道荒河内線]
- ⑰ 井福秀子議員 [市民の暮らしを守る対策、新型インフルエンザの感染拡大のピークに備える対策、核兵器のない世界へ新たな取り組み]
- ⑱ 和足恭輔議員 [ごみの減量化と有料化、生活困窮者の独自支援策、中央保育所民営化、榎原地区の悪臭対策]
- ⑲ 川口敏治議員 [自然エネルギーの利用、新型インフルエンザ対策、まちづくり、全国学力調査、教員の免許更新制]
- ⑳ 川口和也議員 [保育所の民営化、ごみ有料化と減量の取り組み、臨時職員の採用]
- ㉑ 坂元啓一議員 [民主党政権への対応、学校教育問題、漁業問題、農畜産物の輸出促進、バイオマスタウン構想、改正臓器移植法、ベンチャー企業育成]
- ㉒ 細田 勝議員 [市長の政治姿勢、行財政改革、誘致企業施策、市立病院事業、難病医療助成]
- ㉓ 長友昭三郎議員 [税の徴収率向上策、大規模震災時における交通ネットワーク、飼肥杉利用促進のため税制面の優遇措置はとれないか、教育政策]
- ㉔ 井上 進議員 [市長の政治姿勢、今後の諸施策、安全で快適なまちづくり、地域文化を担う人づくり]

7ページ以降、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

☆ 請願・陳情を提出される方へ ☆

★★★ 請願(陳情)書式例 ★★★

以下の要領でお願いいたします。

- ① 必要事項 提出者の氏名、押印、住所、電話番号
- ② 内容 題名、本文(簡潔に)
- ③ 期限 請願は定例会初日、陳情は一般質問初日まで
- ④ その他 請願には紹介議員が必要

※様式は右図を参考にしてください。

日南市議会議長 ○○ ○○ 様	平成○年○月○日	(左からの続き)
	住 所	
	氏 名	○○○○○○○に関する請願(陳情)書
	紹介議員	請願(陳情)の趣旨
	(※陳情の場合は紹介議員は不要)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
		理 由
	○○○○○○○に関する請願(陳情)書	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
		○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	(右へ続く)	○○○○○○○○○○○○



市民自由クラブ
松本 弘 議員

行財政改革の市長の取り組みについて

(問) 前回の議会で平成二十二年度から平成三十一年度までに行財政改革を行うとなっている。期間が長すぎて新日南市の発展は望めないと考えるが、期間を短縮することはできないか。

(答) 現在、策定を進めている行財政改革大綱については、これまでの旧三市町の計画と同様に、期間は、平成二十二年度から二十六年まで五年間を想定している。

新日南市の発展のためにも、計画策定後の改革項目の検証を的確に行い、計画の確実な実施に努める。

合併後の均衡あるまちづくりについて

(問) 旧北郷町において、住民サービスの低下が目立ち不満の声も聞く。合併前と比較して時間がかかりすぎていることはないか。総合支所の役割とは何か。

(答) 総合支所については、総務、企画、財政、議会等の管理部門の一部を除き、住民サービスを直接提供したり、地域の事業を行う機関としての役割を担っており、本庁と総合支所の事務処理の連携などに問題がないか、具体的な事案の把握に努め必要に応じて見直しを行う。

市民との協働について

(問) 市長の市政方針の中に市民との協働があるが、協働によるまちづくりの実現に向け具体的に取り組んでいる事例を上げよ。

(答) 協働によるまちづくりとは、公共サービスの全てを市が担ってきたこれまでのシステムを転換し、地域や市民団体などと市が協力して公共サービスを分担することで既に魅力あるまちづくり実践事業、パートナーシップ創造事業等に取り組んでいる。

(問) 市職員のボランティア活動への積極的参加がまちづくりに活気を与える。実態を示せ。

(答) 市職員のボランティア参加アンケートを実施したところ、全体の六一％が地域活動、消防団活動、市民グループ活動に参加している。今後も積極的参加を呼かける。

新エネルギーについて

(問) エネルギーの地産地消が叫ばれている。例えば、太陽光、バイオマス、風力発電など地元にある再生可能エネルギーへの転換準備計画はあるのか。

(答) バイオマス等未活用エネルギー調査事業を実施し、豚糞等利用メタンガス発電の事業化も検討している。今後も本市の特性を活かした取り組みを行う。



市民自由クラブ
福岡 浩一 議員

赤レンガ館について

(問) 地域おこしは、地域のみなさまの民意が図られてしかるべきと考えるが。

(答) 「合名会社油津赤レンガ館」をはじめ油津を中心に活動されている団体「油津赤レンガ館及び旧河野家主屋等利活用検討委員会」、地元自治会、周辺住民との懇談会、ワークショップ、庁内会議において検討を重ねてきた。又、地域においても説明し、利活用及び整備方針を確認いただいたものと認識している。

(問) 利活用がうまくいかなかった場合、その責任は。

(答) 油津の歴史を物語る建造物の公開施設第一号として、市民と行政が一体となって利活用を図り、魅力拠点とすることで油津の活性化を目指すことが目的であり、理解をいただきたい。

福祉対策について

(問) 市内にウォーキングを目的としたプールがなくなり、健康管理に不安の声がある。油津小近くのプールが倒産のため閉鎖されているが、市が運営する方法はないか。

(答) プールを利用した水中ウォーキングの効果は十分に認識しているところであり、事業を再開していただける企業がないか、調査している。



市民自由クラブ
磯江 純一 議員

中部病院の今後について

(問) 今年度末で累積赤字が、十三億円と予想されるが、今後の病院経営はどうか。

(答) 外部の方を委員として構成する病院経営検討委員会を十月中に開催して、今後の方向性を決めたい。

(問) 医師確保についてはどうか。

(答) 現在、数名の医師と交渉中である。

公金滞納対策について

(問) 公金の未収金の額や滞納対策強化策について、毎月発行の市報に掲載し、住民の意識高揚や改革を促す考えはないか。

(答) 広報誌を通して周知することも、市民の納付に対する啓発につながるが、行政サービスの制限等も含めて、掲載の時期、内容等について検討する。

(問) 公金滞納対策プロジェクトの現在の取り組み状況はどうなっているか。

(答) 市税等徴収特別対策本部会議要綱の制定の審議や、プロジェクトが取り組む五項目を定めた。コンビニ納付の実施についても、具体的な検討を重ねている。

ごみの分別とごみ有料化について

(問) ごみ有料化に早急な住民周知は。

(答) 分別の指導と有料化は、地区自治会や団体等からの依頼に応じて出席し、概要について説明して理解を求めたい。



市民自由クラブ
中島 欽也 議員



市民自由クラブ
渡邊 倫章 議員

飼肥杉需要拡大について

(問) 外材輸入の削減がなかなか進まない中、飼肥杉需要拡大を図る策として、逆に輸出(韓国・中国向け)を考えたかどうか。

(答) 韓国を中心に輸出量を伸ばしたい。来月中旬に、飼肥林業振興対策協議会で韓国を訪問し、関係業界や公的機関に、ピーアールを考えている。

野猿対策モデル地区の効果について

(問) 野猿による農作物被害対策のモデル的な取り組み状況と効果はどうか。

(答) 八月五日に、東郷地区に囲いワナを設置し、餌付け期間を経て、現在、捕獲の段階であり、その効果について検証している。

環境対策について

(問) 国は、二酸化炭素の排出抑制策として、来年度から小規模な水力発電設備の新設に対して、事業費の半額を補助する制度を始める方針であるが、クリーンエネルギー源として導入する考えはないか。

(答) 国の補正予算により、十八自治体で河川の水量や発電した電力の予備調査を始めている。来年二ヶ所を補助対象とする方針であるが、国の状況が、不透明な面もあるため、今後の動きや予備調査の状況を注視しながら検討する。

市立中部病院の不祥事について

(問) 経営状況の悪い中部病院にあつては監査体制をはじめ、会計業務は特に厳密にチェックされていた筈である。なぜ、金銭を取り扱う業務に嘱託職員を配置したのか。

(答) 今回の不祥事の原因は任用や職務内容だけではなく、管理体制や監視体制が十分でなかった。私(市長)をはじめ、職員の意識の欠如や組織体制の不備にあった。

合併後の市政運営について

(問) 自治公民館制度と自治会(区長制)があるが、統一すべきではないか。

(答) 現時点では、合併調整方針に沿って進めるが、三年後の平成二十三年度に戸数割を基本に統一する。

廃校となった施設等の利活用について

(問) 一貫校制により、廃校等となった施設(跡地)は、どう利活用するのか。

(答) 北郷幼稚園は、日南市消防署北郷出張所。黒荷田小跡地は、東九州自動車道工事の従業員宿舍及び事務所。その他の施設については取り壊す予定である。

防災について

(問) 市の防災対策を示せ。

(答) 防災体制の確立を図るため、情報伝達、危険箇所点検等、施策の構築を行う。



市民自由クラブ
甲斐 登 議員



市民自由クラブ
長友 喜昭 議員

教育行政について

(問) 日本が今日の繁栄を築けたのは、手先の器用な国民性による「ものづくり技術」があったからだ。今やその分野は発達途上国にお株を奪われ、国の将来が思いやられる。子供達は鉛筆が削れるのか。皆さんは絞れるのか。指先は第二の脳といわれる。生徒の筆箱に折りたたみ式の小刀を復活させ、日頃から「もの作りの心」を培い、集中力や自立心を啓発してはどうか。

(答) 学校で小刀を大いに使わせることに私も同感。道具の安全性や管理取扱いには、教師の十分な指導のもとに、生活に必要な基礎的技術の習得を目指し、校内で使用させている。各生徒に持たせることには過去の事例も勘案し、各学校とも相談の上、前向きに検討する。

養豚の悪臭対策について

(問) 土壌有効微生物由来のバイオ資材が生産牛や肥育農家に導入され、悪臭問題を解消している。養豚の分野でもマニュアルがあり、活用可能と思うが現状はどうか。

(答) 現在EM菌等の消臭効果については、各豚舎の構造や飼育形態により多種多様で顕著な成果がない。各種の試験結果を参考に、引き続き調査研究を重ねていく。

森林(もり)。以下、同(のまちづくり)について

(問) 地域活性化につなげる森林づくりを計画的かつ積極的に進める考えはないか。

(答) 肥沃(ひよく)な土地には、飼肥杉を植林し、それ以外は、環境を重視した広葉樹に移行するなど、森林の持つ多面的機能を、意識しながら各種施策を進める。

(問) みどりの少年団、漁業関係者など、森林づくりを推進する組織の体制づくりはどうなっているか。

(答) 現在、事業所や学校・関係機関などで構成する「みどり推進会議」を組織し、緑の募金によるグリーン事業や緑化運動などに取り組んでいる。

新たな、みどりの少年団の結成については、学校や地域の子供会に、加入の要請をしている。又、漁業関係では、漁協が「漁民の森」として、さらに、王子製紙などの企業でも森林づくりに自主的に参画されており、市全体に機運が広がっていると認識している。

(問) 「森林づくり条例」を制定する考えはないか。

(答) 豊かな森林を維持し、後生に繋ぐ義務があると認識しているので、議員提案の条例については、検討する。



新生クラブ
黒木 盛明 議員



新生クラブ
杉富 正 議員

交通対策について

(問) 交通事故が多発しているが、重要な事故防止対策として、どう考えているか。

(答) 市内で発生した交通事故の情報を基に、事故の原因と対策など日南警察署の協力を得ながら、交通安全の啓発に努める。

(問) 通学路等の歩道を、計画的に整備することはできないか。

(答) 本年度は、楠原平野線の交通安全対策工事を予定しており、横通り交差点から王子生協前交差点までの区間の歩道段差の解消を図る。

飲肥の観光振興について

(問) 四月から試行してきた城下町の「食べあるき・町あるき」事業は大変な人気で十月三日からの本格化に、どうつなげていくか。まだまだトップセールスが必要と考えるがどうか。

(答) 今後も機会あるごとに、観光日南をPRしていく。

(問) 電柱の地中化の進捗状況はどうなっているか。

(答) 現在、市道「大手横馬場通線」及び「後町線」について、平成二十一年から二十五年度までの、第六期無電柱化推進計画の対象路線とする方向で、電線管理者との調整を進めている。

入札制度について

(問) 条件付一般競争入札に地元業者が、参入できるシステムが必要ではないか。

(答) 機械器具設置工事のように、業者数が少ない業種では困難な面があるが、一般競争入札の発注条件は、可能な限り地元が受注できるよう努める。

日南線観光特急「海幸山幸」について

(問) 各地区・駅の観光客受け入れ態勢はどうなっているか。

(答) 多くの市民に協力をいただきながら、各駅において観光地およびお食事処等を案内できるよう、散策マップや観光案内板の作成に取り組んでいる。おもてなしの心を持って観光列車を迎えたい。

小村寿太郎侯没百年事業について

(問) 二年後には郷土の偉人、小村侯没百年の節目の年を迎える。記念事業やイベントについてはどうか。

(答) 具体的な計画については、今後、奉賛会など関係者の意見を聞いて検討する。

ごみ有料化について

(問) 将来に向けたごみ減量対策はあるか。

(答) 市民への啓発が重要と考える。「ごみ辞典」やパンフレットを配布し、有料化の円滑導入を図るとともに、実効性のあるごみ減量対策の確立を目指す。



清風会
坂口 義弘 議員



公明党日南市議団
鈴木 教夫 議員

市長の重要施策について

(問) 「めざせ地産地消一〇〇%のまち日南」を宣言されたが、安全・安心な食糧基地づくりとは、どんな構想か。

(答) 恵まれた気象条件を活用して、安全・安心な農産物を生産し、地元はもとより、大消費地へ安定的に供給できる産地づくりを目指すものであり、その実現を図るため、生産体制の充実、ブランド化・高付加価値型農業の推進、後継者・担い手の確保・集落営農の推進、環境保全型農業の推進などの諸施策を総合的に展開している。

職員数について

(問) 類似団体と比べると多いと思うが。

(答) 合併当初ということもあり、多い状況にあるが、平成三年度までに百七十九人の削減計画である。尚、現在、策定中の「行財政改革大綱」の中で、方針を明確にし、適正な定員管理に努めていきたい。

介護用品支給事業について

(問) 市指定業者の指定用品価格差には問題がある。是正すべきではないのか。

(答) 価格の統一は、単価契約や入札によることが必要となる。また、利用者の利便性等も考慮する必要があるため、どのような方法が有益であるか、今後、検討していく。

安心、安全のまちづくりについて

(問) 公園、道路の照明灯の一部に、発光ダイオード(LED)を導入できないか。

(答) 切り替え費用と電気代などトータルコストを考え検討する。

(問) 戸高川の側溝沿いに転落防止柵をつけれないか。

(答) 水路管理者と協議し、他路線の状況をみて、整備時期について検討する。

(問) アルコール依存症対策はないか。

(答) 各種健康相談や健康教育の場で正しい知識の普及と啓発に取り組む。

農林水産業の振興について

(問) 以前、飲肥杉でつくられた机、イスを、再度使うとすれば、何が問題か。

(答) 机、イスを上下するねじ穴、スチール製品と比べ重い。コストが高い。この三点を解消すれば、再度事業化はできる。

(問) カット一本釣りの不漁の原因と対策についてどうするか。

(答) 資源枯渇や巻き網問題、その対策を関係機関と連携し、国、県に要望する。

学校教育などについて

(問) 学校給食の米飯給食に使用する米を地元の米店から仕入れることはできないか。

(答) 米飯計画献立などを調整し、JAはまゆうや米店、庁内で協議し検討する。



公明党日南市議団
谷口 重紀 議員



新生南郷会
松田 謙一郎 議員

環境問題について

(問) 産廃処理の現状はどうなっているか。
(答) 取り扱っている主な廃棄物は「がれき類」「木くず」である。

(問) 市内の産廃処理業者は何社あるか。

(答) 収集運搬業十八社、中間処理業三社、最終処分業二社、中間処理業と最終処分業一社である。

(問) 市内の産廃処理場周辺の水質臭気等の定期的検査は行っているか。

(答) 水質は月一回、臭気等は年一回測定し、報告されている。

新型インフルエンザについて

(問) 最初の感染からその後の対応はどうなっているのか。

(答) 県と保健所と日南市で迅速な感染拡大防止策を実施している。

(問) 感染予防と拡大防止対策の内容はどうなっているのか。

(答) 手洗い、うがいの励行と咳エチケット、マスクの着用で、その広報を実施している。

日南串間広域不燃物処理組合について

(問) 期限が平成二十三年二月と聞くと、その対応はどうなっているか。

(答) 組合及び組合議会の所管であるので意志の疎通を図り対応していく。

安心、安全のまちづくりについて

(問) 地域防災計画について、合併後作成が必要と思うが、その計画があるのか。

(答) 現在、策定に向け作業中で、来年三月の完成を予定している。

(問) 自主防災組織のあり方、役割分担はどう考えているか。

(答) 組織化について、今後さらに、自治会等で説明し、自主防災組織の役割や、訓練手法の指導を積極的に行う。

住宅用火災警報器の設置について

(問) 公営住宅への設置は完了しているか。

(答) 設置に必要な戸数は、千七百九十三戸で現在までに約八〇%の設置率である。

(問) 一般住宅への指導徹底はしているか。

(答) 自治会長会、広報紙、イベントでのチラシ、ホームページ等で行っている。

健康診査の実施について

(問) 特定健康診査、がん検診の受診率はどうなっているか。

(答) 特定健診で二六・八%。がん検診で一〇・九%。共に全国平均を下回っている。

(問) 受診率向上対策についての考えはどうか。

(答) 集団方式を取り入れることや、特定健康診査とがん検診を同時に行うようなセット検診を検討している。



新生南郷会
山下 武典 議員



新生南郷会
守竹 博 議員

地域振興について

(問) 地場産業の実態はどうなっているのか。

(答) 事業所・企業調査によると、旧三市町合わせた事業所数は、平成十一年に三千四百七十九件あったが、十八年は、三千六百と三百十九件の減少で、大変厳しい状況である。

(問) 今後の振興策をどう図るか。

(答) ハローワークや関係機関と情報交換を図り、又、関係団体と連携を図り国の制度等を活用し支援していく。

農業施策について

(問) 農用地区域内の耕作放棄地(遊休農地)の実態はどうなっているのか。

(答) 百五十五ヘクタールである。

(問) 解消対策の取り組みはどうなっているのか。

(答) 専門の「地域優良農地創出コーディネート」を配置し、調査・相談・あっせん等を行うと共に、農業委員会が中心になり「優良農地創出プロジェクトチーム」を組織し、取り組んでいる。

(問) 水田の有効利用の取り組みはどうなっているのか。

(答) 南那珂水田農業推進協議会で、取り組んでいる。

循環型社会の実施について

(問) 南那珂森林組合が林地残材等で、バイオコークスを作る研究をしている。実用化に向け行政の支援はできないか。

(答) 組合との連携を深め、調査等を行う。

協働社会の構築について

(問) 自治会との連携をどう図るか。

(答) 自治会の理解と協力は欠かせない。本来の機能を今後も維持し、自治会への加入促進、公民館整備、各種制度の事業を活用し支援する。地域活動に対し、公用車、備品の提供、市職員の参画促進等を行う。

優良仔牛導入保留奨励金交付及び保留対策事業基金について

(問) 交付金の増額は考えられないか。

(答) 畜産業は、基幹産業であり、畜産農家の励みになるような施策を検討する。

(問) 事業基金の増額は考えられないか。

(答) 平成二十五年度までに、三千万円に増額する。

市道通水札ノ尾線 林道について

(問) 拡幅改良工事の計画はないのか。

(答) 制度事業で早期整備を模索する。

市道荒河内線について

(問) 改良工事の計画はないのか。

(答) 山際の排水路も埋没し、機能を発揮していないので舗装、側溝の整備を図る。



新生南郷会
山口 満 議員



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

市民の暮らしを守る対策について

(問) 経済不況のもと、市民所得は前年度と比べてどうであったか。

(答) 全体で二・九二％減の十六億千五百六十二万円の減少である。

(問) 日南市には市税の減免条例や規則があるが、該当者なし。ただの紙切れにせず、血の通ったものにするべき。名古屋市の減免条例や軽減措置を研究する考えはないか。

(答) 一度見せていただきたい。

(問) 都城市と同じように、無保険の高校生に保険証を交付してはどうか。

(答) 実施した自治体の内容等を検討する。

新型インフルエンザ対策について

(問) 本格的な流行期を迎えるが、重症者の為のベットや人工呼吸器の準備は十分か。

(答) 医師会、公立病院、行政機関が連携して十分な体制を協議・確認している。

(問) 学校閉鎖や休校も必要となるが、臨時の保育体制や企業に休みを保障させるなどの措置はとれないか。

(答) 新型インフルエンザ対策などの「ガイドライン」の普及に取り組み。

核兵器のない世界へ新たな取り組みを

(問) 都城市では核廃絶にむけた十七万署名を取り組んでいる。日南市もできないか。

(答) 日南市としての取り組みを研究する。

生活困窮者の独自支援策について

(問) 就学援助制度の市独自の上乗せ制度としてメガネ購入は、対象とできないか。

(答) メガネの助成は考えていない。

(問) 就労困難な生活保護の母子世帯に福祉給付金を支給する考えはないか。

(答) 考えていない。新政権の公約どおり母子加算が復活されることを期待したい。

ごみの減量化と有料化について

(問) ごみ減量化に向け、市民により徹底した分別をお願いしようというときに、有料化を行えば、市民にとっては二重の負担とならないか。

(答) 有料化は排出量に応じた費用負担の公平性を確保するものであり、ごみ発生抑制への有効な施策の一つだと考えている。

(問) 今後、廃プラスチック等の分別も検討していくとのことだが、日南市ごみ減量化基本計画を作成する考えはないか。

(答) ごみ焼却施設の件もあり、広域的観点が必要なので現在、作る考えはない。

(問) 少なくとも、減量化の数値目標を示し、どれだけのごみ処理費用が節減できるかを明らかにしながら、市民との協働によるごみ減量化の取り組みを進めていくべきではないか。それは可能か。

(答) 可能である。



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員



社民クラブ
川口 敏治 議員

自然エネルギーの利用について

(問) 地球温暖化が心配され、鳩山政権も二酸化炭素の排出量を九〇年比で二五％削減を宣言した。本市でも風力や太陽光などの自然エネルギーを積極的に活用すべきだ。

(答) この事業は民間事業者が実施するもので一〇〇％売電が原則だが、電力会社の事情もあり進んでいない。楠原での太陽光発電は環境省の委託を受けた民間事業者が試験したもので、有効活用も可能だと判断だが課題も多く、検討を続ける。

全国学力・学習状況調査について

(問) 三年目を迎えたがどれだけの予算が使われたのか。

(答) 約百八十五億円使われている。

(問) 教員の中にはもっと教職員の増員を凶ってほしいという声も多い。OECDの調査では、公教育予算は二十八カ国中、下から二番目だ。教育環境を整備すべきだと思いが調査の目的は何だったのか。

(答) 教育の水準確保のため、学習の到達状況を把握し、指導方法の改善に取り組むためとされている。

教員免許更新制について

(問) 十年に一度、講習に合格しないと教壇に立てなくなることが心配だがどうか。

(答) 教員が尊敬と信頼を得るのが目的だ。

保育所の民営化について

(問) 今回の民営化は旧日南市の保育所民営化計画方針に基づき実施されていると思うがどうなのか。

(答) 旧日南市の市政一新計画の考え方を踏襲している。

(問) 民営化準備期間は、平成十七年六月の保育所民営化計画では、「発表から一年半」。平成十九年にインターネットにも公表された民営化基本方針(ガイドライン)では、「最低一年程度を確保する」となっている。なぜ、正式に公表した期間を守らないのか。

(答) 飢肥保育所、東郷保育所とも困難なく民営化が出来た。期間は十分と思っている。

(問) ガイドラインでも「最低一年程度を確保」するとなっているのに今回は、発表から半年足らず。ところが、期間が十分と言えるのか。公表した期間を守ることが、市長としての責務。市民にウソをついたことになるのではないか。

(答) 今後とも、保護者と十分話し合っていく。

(問) 九月十九、二十日保護者説明会が実施されたが、市長は出席したのか。

(答) していない。



社民クラブ
川口 和也 議員



無会派
坂元啓一 議員

民主党政権への対応について

(問) 民主党政権になって、国に対する陳情や要望等をする場合に、どのような政治スタンスで望むのか。

(答) これまで同様で望みたい。

(問) 新聞の投書欄の中に、陳情以外の方策はないのかとあったが、どう応えるか。

(答) ないと思う。

改正臓器移植法について

(問) 市長は改正臓器移植法について、賛成か反対か。

(答) 今回の改正は、大きな前進と受け止めている。

(問) ドナーカードを持っていますか。

(答) 持っていない。

(問) アイバンクに登録していますか。

(答) 登録していない。

(問) ご夫婦でこのようなことを話されたことはありませんか。

(答) ありません。

水産業の所得保障制度について

(問) 以前から訴え続けてきた水産業の所得保障制度について、どう考えるか。

(答) 国・県とも創設されていない。市単独でもきわめて困難である。

(問) 新政権にも必要性を訴えるべきでは。(答) 検討する。

職員研修について

(問) 外部講師導入の考えはないか。

(答) 市内で活躍されている民間の方を講師に迎え、「匠の研修」として開催予定である。

行財政改革について

(問) 新市の行財政改革大綱策定の進捗状況はどうか。

(答) 旧三市町での計画の分析や合併先進自治体の例を参考に、大綱の骨格となる基本方針の素案を策定中である。

誘致企業施策について

(問) 既存誘致企業の景気状況をどのように把握しているのか。

(答) 経済危機の影響に加え、業界の構造的な問題等により、極めて厳しい状況の企業もあり、大変危惧している。

(問) 市独自の支援策は考えていないか。

(答) 特に支援制度はないが、国の支援制度を広くPRして、企業の事業活動や雇用の継続に努めていく。

市立病院事業について

(問) 医師報酬の見直しはできないか。

(答) 初任給調整手当の増額、地域手当の新設により年間給与額を引き上げた。

難病医療助成について

(問) 相談申請の窓口はどこか。

(答) 日南保健所である。



改政クラブ
細田 勝 議員



改政クラブ
長友昭三郎 議員

税の徴収率向上策について

(問) 「過払金返還請求権の差し押え」について、その後どう把握検討されたのか。

(答) 滞納者の一人が弁護士を通じ、訴訟を行い、返還金が生じた時、滞納額を一括納付することで、誓約書を交わした。

未評価家屋調査事業について

(問) 現在どこまで調査が終了しているのか。

(答) 平成二十年六月までに、飢肥地区全域、吾田星倉地域を調査完了している。

大規模震災時における交通ネットワークについて

(問) 本市管内の橋梁整備状況はどうなっているのか。

(答) 一次指定路線の国道二二〇号線は、二十六橋全て。二二三号線は、四十橋のうち十四橋。県道日南高岡線は、三十二橋のうち五橋が耐震化済みである。残りも一定の耐震強度を有しているため、本格的な耐震補強については、今後の検討課題である。

教育政策について

(問) 「ゆとり教育」の弊害は何か。

(答) 「ゆとり」という言葉だけが先走りして、児童生徒が自ら学ぶという主体性を重視し、基礎的・基本的な知識・技能の定着がおろそかになったことが弊害である。

市長の政治姿勢について

(問) 市長のマニフェストを新総合計画にどのように取り組むか。

(答) 新市総合計画への基本政策の反映の確認を徹底して実施していく。

今後の諸政策について

(問) 活力ある元気なまちづくり事業の進め方は、どのようにするか。

(答) 各種施策の充実を図りながら企業誘致も含め、実現に向け実施していく。

(問) 旧一市二町の観光協会の合併はするのか。

(答) 早期に合併することが望ましい。

(問) 中心市街地活性化を進める「日南まちづくり会社」が活動を始めたので、観光事業・イベントの実施を委託しないか。

(答) 今後、検討していく。

安全で快適なまちづくりについて

(問) 防災の危機管理体制は万全か。

(答) 自主防災組織を中心に強化していく。

(問) 自衛隊派遣の要請はどうなるのか。

(答) 市長が知事を通じ要請する。常日頃より連携・強化を図っている。

地域文化を担う人づくりについて

(問) 市民体育は今後どのように進めるか。

(答) スポーツ団体・体育指導委員・体育協会等が、それぞれの役割を果たしていく。



改政クラブ
井上 進 議員

常任委員会報告

総務文教常任委員会

(委員長) 平原光則(副委員長) 安竹 博
(委員) 山本定則、倉岡郁夫、鈴木教夫
渡邊倫章、河野哲夫、田中重信
松本 弘、川口敏治、影山一雄

総務文教委員長報告

議案第四十九号「日南市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例」。内容は、市立中部病院に勤務していた嘱託職員による不祥事の発生を鑑み、自らを律するため指揮・監督の立場にある市長及び副市長の給料減額の措置を講ずるため条例改正を行うものです。

議案第五十七号「財産の取得について」。内容は、水槽付消防ポンプ自動車の取得につき、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、陳情第二号「安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。請願第五号「JR不採用問題の早期解決を求める意見書に関する請願」については、賛成少数で不採択となりました。

厚生常任委員会

(委員長) 杉富 正(副委員長) 福岡浩一
(委員) 野川喜美子、川口和也、岩永憲明
細田 勝、井福秀子、谷口重紀
井上 進、長友喜昭、坂田武人

厚生委員長報告

議案第四十三号「平成二十二年度日南市国民健康保険特別会計補正予算」。

議案第四十四号「平成二十二年度日南市介護保険特別会計補正予算」。

議案第四十五号「平成二十二年度日南市病院事業会計補正予算」。

議案第五十号「日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例」。内容は、健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布により、一定期間の出産育児一時金の支給額が引き上げられることに伴い、条例改正を行うものです。

議案第五十一号「日南市廃棄物の適正処理、減量化、資源化等に関する条例の一部を改正する条例」。内容は、平成二十二年四月一日から、市内全域において一般廃棄物に係る処理手数料を有料化することに伴い条例改正を行うものです。

議案第五十八号「日南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」及び議案第五十九号「日南市立中部病院の管理に関する条例の一部を改正する条例」。内容は、回復期リハビリテーション病棟の入院患者の増加に伴い、「一般病床数の変更に伴い条

例改正を行うものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願第六号「消費税によらない最低保障年金制度」の創設を求める請願及び請願第七号「物価に見合う年金引き上げを求める請願」については、いずれも賛成少数で不採択となりました。陳情第九号「健康づくり屋内温泉プールの確保に関する陳情書」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

産業経済常任委員会

(委員長) 坂口義弘(副委員長) 黒木盛明
(委員) 和足恭輔、山下武典、長友昭三郎
柏田登美子、坂元啓一、磯江純一
豊倉照光、井戸川格

産業経済委員長報告

議案第五十二号「日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例」。内容は、企業立地を促進するため、優遇措置対象要件の緩和を行うため、条例を改正するものです。

議案第五十三号「字の区域の変更について」。内容は、吉野方地区土地改良事業の施行に伴い、字の区域を変更する必要があるものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

(委員長) 徳尾尚男(副委員長) 前田幸雄
(委員) 松田謙一郎、濱中武紀、中尾貞美
甲斐 登、山口 満、國貞 章
山元敏郎、中島欽也

建設水道委員長報告

議案第四十六号「平成二十二年度日南市簡易水道特別会計補正予算」。

議案第四十七号「平成二十二年度日南市農業集落排水特別会計補正予算」。

議案第四十八号「平成二十二年度日南市水道事業会計補正予算」。

議案第五十四号及び議案第五十五号「字の区域の変更について」。

議案第五十六号「日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例」。内容は、グリーンネス黒荷田八号棟を入居者に譲渡するため、条例改正を行うものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

議 会 日 誌

(8月1日～10月31日・抜粋)

<8月>

- 10日 厚生委員会所管事務調査
(北郷さくらこども園ほか)
- 19日 愛知県半田市議会来訪
- 21日 日南串間広域不燃物処理組合議会
- 23日 日南市戦没者追悼式
- 25日 子ども議会
夏期巡回ラジオ体操
- 31日 議会運営委員会

<9月>

- 7日 第5回定例会開会
- 11日 宮崎政経懇話会
- 30日 議会だより編集委員会

<10月>

- 1日 第5回定例会閉会
- 2日 日南地区労働安全衛生大会
- 5日 各常任委員会行政視察
[総務文教・厚生・産業経済]
(7日まで)
- 8日 いきいき合同金婚式
- 9日 東九州自動車道総決起大会
(南郷ハートフルセンター)
- 10日 那覇まつり
日南線観光特急列車歓迎式
- 11日 日南市民体育大会総合開会式
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 県市議会議長会先進地視察研修
(16日まで、東京・福島)
- 15日 神奈川県逗子市議会来訪
九州商工会議所女性会連合会役員会(日南大会)
- 17日 第22回全国スポレク開始式等
(20日まで)
- 21日 第4回全国市議会議長会研究
フォーラム in 金沢(23日まで)
- 24日 飢肥城下まつり(25日まで)
- 26日 決算審査特別委員会(29日まで)

〈議員提出議案第12号〉

「天皇陛下御即位二十年を祝す賀詞」決議

天皇陛下におかせられましては、本年御即位二十年をお迎えになられ、まことに慶賀にたえないところであります。

ここに日南市議会は、市民とともに謹んでお祝い申し上げます。

以上、決議する。

平成21年10月1日

宮崎県日南市議会



東九州道「猪八重トンネル」



国道220号災害復旧現場

前回の第五回定例会において、設置されたこの特別委員会では、日南市における道路・港湾等の現状を把握するため、八月二十七日に委員会を開催し、説明を受けた後、現地調査を行いました。今後、県をはじめ国への要望を予定しています。

道路・港湾等交通網 整備促進特別委員会

★日南市議会ホームページ をご覧ください

[http://www.city.nichinan.lg.jp/modules/contents10/index.php?content_id=4]

〈掲載している主な内容をご紹介します〉

- ①議員名簿(全体名簿、各常任委員会委員名簿、議会運営委員会委員名簿)
- ②議会年間スケジュール、会期及び会期日程、提出議案一覧、議決結果
- ③会議録検索システム

※過去の旧日南市、旧北郷町、旧南郷町議会分も見ることができます。

- ④市議会の概要(機構図、議場内席表) など

編集後記

▼今議会では二十四名の議員が一般質問に立ち自らの持論を展開して、市政を質しました。▼初めて新市の質問方式により壇上に立つ議員も多く、旧町議会との違いに戸惑いながら、壇上での質問通告の趣旨説明と質問席からの再質問を行いました。▼五日間に亘る質問で、重複する項目や関連する案件なども多く、持ち時間を残して終了する場面も散見され、限られた時間で行う本会議での質問には、十分な準備が必要と改めて自省しました。

市議会だより編集委員会
委員長 田中重信

あなたも「本会議」を傍聴してみませんか?

本会議は、議会の生の声を聴くことのできる絶好の機会です。

本会議の傍聴は、議会事務局で受付をしていただくだけで、予約等の面倒な手続は必要ありません。



ぜひ、傍聴にお越しください。(次回定例会は11月27日開会予定)

この号、または、日南市議会に関するお問い合わせは、日南市議会事務局(0987-31-1142)まで。